

全知P連 防災部会の活動報告

1 防災部会発足の経緯について

平成23年8月20日の全国研究協議大会・関東甲信越大会（群馬大会）全体会で、危機管理アドバイザー・鍵屋一氏のご提言の中で、【特別支援学校のBCPの必要性】がうたわれておりました。大会後、「特別支援学校のBCP」のガイドラインを作成するため、鍵屋氏にご協力をお願いをした際に、『全知P連に防災部会を作ってはいかがですか』というご助言をいただきました。

子どもたちの命や安全を守るために今PTAがすべきことを考え、取り組んでいくためには、各PTA・地域での特色を生かした取り組みの他に、関係行政機関・関係団体との情報の共有・交換を図り、各地域に伝えていくというPTA連合会としての広範囲な取り組みも必要です。また、BCPを各PTAにわかりやすく伝えていくことも重要なことです。このようなことを検討した結果、防災部会を（期間を限定して）設置し、始動していくことを決定させていただきました。

メンバーについては、当初より「特別支援学校のBCP(案)」のワークに携わり、被災地の情報収集・情報交換並びに発信をしてくださった実績を踏まえて、群馬大会のパネリストの方々にお願いすることとなり、9月21日、防災部会を設置する経緯をパネリストの方々にお伝えし、ご協力の意思確認をさせていただきました。5名の方にご快諾いただきましたが始動後、さまざまな面で東京ブロックの会長の協力が必要になり、新たにお願ひし防災部会メンバーは全6名となりました。

平成23年12月4日当該年度の会長から正式に委嘱状が渡されました。

《防災部会メンバーの紹介》（委嘱当時の役職）

- | | |
|------------------------------|---------|
| ・平成21・22年度岩手県知P連会長 | 菊池 要悦 氏 |
| ・平成22年度宮城県知P連会長・東北ブロック長 | 工藤 史 氏 |
| ・平成21年度滋賀県知P連会長・平成22年度全知P連理事 | 前田 正史 氏 |
| ・平成22・23年度全知P連理事 | 関根 健一 氏 |
| ・平成23年度東京ブロック長 | 高橋 淑江 氏 |
| ・平成21年度東京ブロック長・平成22年度全知P連会長 | 石塚 由江 氏 |

2 現在までの活動について

第1回目 平成23年9月30日

【全国特別支援学校長会事務所にて開催】

正式な委嘱前でしたが、全国特別支援学校長会事務所にて第1回目を開催しました。

校長先生方の会議において、鍵屋氏が「特別支援学校のBCP」についてをご説明くださり、校長先生方と防災部会メンバーとで今後の「知的障害教育校のBCP」のガイドライン作成に向けての取り組みや防災部会の方向性についてを話し合いました。

その後、メール等のやり取りで意見交換・調整を図り、10月24日「知的障害特別支援学校における事業継続計画（BCP）策定のためのガイドライン」を全知P連ホームページより発行しました。

第2回目 平成23年12月4日

【都市センターホテルにて開催】

防災部会からの情報発信のみではなく、会員がそれぞれの地域の特性を生かし、工夫して取り組めるようなものは何かを議論しました。

結果 ⇒ 「防災ワークショップをしてみてもどうか」と、なり、次回の防災部会で行うことにしました。

第3回目 平成24年2月11日

【有明の丘基幹的広域防災拠点施設、港区障害保健福祉センターにて開催】

午前中は有明の丘基幹的広域防災拠点施設で開催された内閣府の防災教育チャレンジプラン報告会に参加しました。

午後は、岩手県・宮城県の県知P連会長にも参加していただき、「防災ワークショップ」実施しました。当時の状況をうかがいながら活発な意見交換を図ると共に、時系列を追うことで見えてくる必要な対応や課題が浮き彫りになり、KJ方によるワークショップの有効性を体感しました。

「防災ワークショップ」の取り組みについては、会報（No.53 P12参照）、ホームページを通してお知らせしました。

第4回 平成24年5月26日

【全知P連事務所にて開催】

鍵屋氏、全知長事務局長の校長先生にオブザーバーとしてご参加いただき、防災部会か

ら各PTAへ今後、どのようなアプローチをしていくことが可能かを話し合いました。

- ▶ 知的障害児の保護者への防災意識の啓発として、「家族で会議ができる資料」のフォーマットの作成が必要では・・・。
- ▶ 家族の個人情報の在り方についての検討やファイルの作成も必要
- ▶ 1人でも多くの会員が“わが事”と捉えて、各校・各地域での防災訓練・防災教育などの活動に率先して参加するための動機づけが必要では・・・
等の意見があがりました。

鍵屋氏からは、「防災部会委員が普及活動を実践していく時期に来ているのではないか」というご意見をいただきました。そして、鍵屋氏が【大震災から知的障害児と家族を守る防災対策】の資料を防災部会にご提供くださることになり、今後の防災委員の普及啓発活動に活用していくことを勧めていただきました。

後藤顧問(平成23年度全知P連会長)から【第31回全国研究協議大会 中国四国大会 山口大会全体会】での提言を行う際、防災部会の活動も報告をしてほしいとの依頼がありました。

⇒菊池委員に提言していただくことになりました。

防災部会委員の普及啓発活動、PTAが主催する行事等の際に必要な防災面の注意事項の広報の仕方のPR、全国特別支援教育推進連盟が編集された防災の本(全知P連が中心的に執筆)「安全・安心な場を創ろう～大規模災害の教訓を生かして～」が山口大会で出版されることに伴う支援などを考慮し、山口大会が開催される宇部市にて第5回防災部会を行うことを決定しました。

3 今後の防災部会について

第5回 平成24年8月24日

【山口県宇部市にて開催】

防災部会委員が実践する普及啓発活動の具体的なノウハウについてを話し合います。

以上平成24年8月10日現在の報告
文責：全知P連事務局